

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22075	事業名	中学校デリバリー給食実施事業			
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					
	施策体系	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実		予算科目	会計	01:一般会計
		基本施策	01:子どもたちの豊かな学びと成長を支える環境の充実			款	10:教育費
		施策の方向	02:豊かな学びを支える教育環境の充実			項	03:中学校費
		重点プロジェクト	04:「未来へのピラ」プロジェクト			目	01:学校管理費
事業期間	H 20 年度 ~ R - 年度	主な根拠法令等		-			

評価分類	A1
------	----

担当部署	
部	教育委員会事務局
課	教育総務課 保健給食G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	亀山中学校・中部中学校の生徒が、正しい食生活を身に付け、食育に関する指導の充実を図るとともに、栄養に配慮した食事を提供することとして、平成20年度から実施している。	亀山中学校及び中部中学校の生徒	家庭弁当の持参とデリバリー給食の選択ができる方式を通して、生徒が自らの昼食に関心を示し、食への関りを持つ機会を与えるとともに、心身の成長が著しい中学生に対し、栄養バランスの考えられた昼食を提供する。	亀山中学校・中部中学校における生徒の昼食を、家庭弁当の持参と給食の調理・予約注文・集金業務等を外部委託するデリバリー給食との選択制とし、各家庭のニーズや生徒の嗜好・栄養摂取を考慮した昼食の提供を実施する。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○デリバリー方式による給食実施	○デリバリー方式による給食実施	○デリバリー方式による給食実施	○デリバリー方式による給食実施
	活動実績 (計画通り実施できたか)	年間178回の実施により、必要な回数 の給食を実施することができた。 生徒対象のアンケートを実施し、委託 業者との打合せと新メニューの取り入れ により、献立内容の改善を図った。			
計画額	事業費	46,000千円	43,700千円	46,000千円	46,000千円
		国・県支出金			
		地方債			
		その他			
決算額	事業費	46,000千円	43,700千円	46,000千円	46,000千円
		国・県支出金			
		地方債			
		その他			
①期間内事業費(R4-7)		184,000千円	②期間外事業費(R8-)	-	①+②総事業費

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	43,700千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	生徒のデリバリー給食満足度	成果	%	計画値	70	70	70	70
				実績値	75			
	新メニューの取り入れ	活動	回	計画値	10	10	10	10
				実績値	11			
				計画値				
				実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
A	委託業者との打合せと新メニューの取り入れにより、献立内容の改善を図ったことにより、生徒対象のアンケートにおける肯定的回答(おいしい・どちらかと言えばおいしい)の割合が計画値を上回り、生徒自らの昼食への関心を高めつつ、栄養バランスの考えられた昼食を提供することができた。
十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
亀山中学校及び中部中学校の生徒	家庭弁当の持参とデリバリー給食の選択ができる方式を通して、生徒が自らの昼食に関心を示し、食への関わりを持つ機会を与えるとともに、心身の成長が著しい中学生に対し、栄養バランスの考えられた昼食を提供する。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	献立内容の改善を引き続き行っていく必要がある。 また、物価高騰に伴う食材価格の上昇により、以前に比べて献立作成が難しくなっているため、保護者負担金額の見直しを検討する必要がある。 なお、中学校全員喫食制給食実施事業の検討結果により、事業の展開が変わる可能性がある。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性
	継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容
	令和5年度で対応する(した)もの 生徒対象のアンケートや新メニューの取り入れにより、献立内容の改善を行っていく。 また、保護者負担金額の見直しを検討する。 なお、中学校全員喫食制給食実施事業の検討結果により、方向性を見直しを検討する。
	令和6年度以降で対応するもの 生徒対象のアンケートや新メニューの取り入れにより、献立内容の改善を行っていく。 また、中学校全員喫食制給食実施事業の検討結果により、方向性を見直し場合は、事業内容の見直しを検討する。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A			
事業展開	継続(現状維持)			

【履歴】

1次評価者	教育委員会事務局 教育総務課 保健給食GL 渡邊 尚也
最終評価者	教育委員会事務局 教育総務課長 麻生 俊哉